

かがやく杉谷っ子のために ～

ONE TEAM

島原市立第四小学校

学校だより No.166

令和6年2月29日(木)

文責：校長 大槻浩二



ふれあいの池がビオトープに生まれ変わりました！



ふれあい広場にある「ふれあいの池」は、平成14年に本校育友会から寄贈されたものですが、設備が老朽化し、水が循環しなくなっていました。そこで、「学校環境緑化モデル事業（「緑の募金」事業）」を申請したところ申請がとおり、整備費用を全額助成していただき、2学期よりビオトープへの整備を進めて参りました。

この「学校環境緑化事業」に係る資金は、コンビニエンスストアでご存じの株式会社LAWSONのレジ近くに置いてある「緑の募金箱」にお客さんが入れてくださった募金です。全国のみなさんの善意によって成り立っています。



2月28日(水)に「ふれあいの池」ビオトープ完成記念式典をLAWSON関係者、長崎県緑化推進協会、島原市教育委員会、育友会役員、6年生全児童参加で行いました。リニューアルした池は、水が循環し金魚やメダカが元気に泳いでいます。今後、昆虫や鳥も集まってくると期待しています。みんなで大切にしていきます。



フラワーアレンジメントを贈りました！

2月27日(火)、「感謝の思いを伝えよう Project」を実施しました。この取組は、朝の登下校を見守っていただいている交通指導員、見守り協力隊の方々と図書ボランティア、子ども110番、公民館、交通安全協会、民生委員、杉谷を愛する会、放課後子ども学習室の先生など、日頃から子どもたちがお世話になっている方々に感謝の気持ちを込めて手作りのフラワーアレンジメントにメッセージを添えて贈ろうというもので、4年目の取組となります。

重松花屋さんから講師をお招きし、5・6年生全員で一人一つのアレンジメントを心を込めて作り上げました。

できあがったフラワーアレンジメントは、子どもたちによって日ごろの感謝の言葉を添えて届けました。「地域の方に感謝の気持ちを伝える」このこともふるさと学習の一つです。



「四小スタンダード」モデル認定者

児童会を中心に取り組んでいる「四小スタンダード」は、子どもたちの「自分の学校は、自分たちの手でよりよくする」という思いのもと、主体的に取り組んでいる活動です。取り組み始めて4年。本校の安心安全な学校生活づくりの基盤となっています。4月の代表委員会で今年度の「四小スタンダード」を定め、「各項目達成率70%達成」を目標とし、各学級や各委員会で具体的な手立てを考え、高学年は自らの姿を低学年に手本として示しながら、取り組みました。毎月、タブレットを活用しての振り返りが意識向上につながっています。

今年度も、みんなの手本となり、5つの項目を総合して達成できている右表の子どもたちを各学級の「スタンダードモデル」として認定し、表彰を行う予定です。

【モデル認定者】

1年	1組	北澤 実玲
		長嶺 結仁
		村里 楓
2年	1組	小林 春日
		松本 空希
		森本 翼
3年	1組	宮崎 愛未
		網本 千夏
		安部 恵和
4年	1組	松本 彩萌
		濱村 颯大
		松本 大和
5年	1組	松本美央理
		松本 一伸
		安部 魁人
	2組	北澤 咲菜
		増田 由來
		酒井 晴琉
6年	1組	森本有希奈
		平尾 怜奨
		苑田 蒼依

もっとすてきな四小に(R5四小スタンダード)

